



野田 忠幸
(21世紀の会)

質問項目

- ・住居表示の適正運用
- ・新市庁舎建設について
- ・CO₂排出実質ゼロ表明について

ゼロカーボンで産業が成り立つか

率先対応の中から活路を見出す

議員 「2050年までにゼロカーボン」で釜石の産業は成り立つのか。電気は間違いなく確保できるか。できると言い切れないとゼロカーボン表明は無責任だが。

産業振興部長 ゼロカーボンで産業が成り立たないとは考えないで、成り立たせなきゃいけないという考えでやっていく。何もしないよりは率先して対応していくことで活路を見いだしながら取り組んでいきたい。

産業振興部付課長 ゼロカーボンは太陽光、陸上風力やバイオマス発電等の積極的

導入、蓄電池の整備等により実現していきたい。ベリースロード電源、バックアップ電源や機動的電源もこれらの供給電源のベストミックスを検討しながら見出していきたい。

議員 新市庁舎建設費は資材・人件費の高騰によってどの程度の影響があると捉えているか。財政的手当はどのようにするのか。

総務企画部長 建設費の総額は現時点では約61億9700万円を予定しているが資材高騰等の影響は相当大きくなると見込んでいるが、県が公表予定の最大地

震に伴う津波シミュレーションの結果を待ち、必要に応じた設計変更を行った上で積算を行うことが効率的と考えている。増額分に係る財政的手当については、可能な限り庁舎建設基金への積み増しをしつつ、市債及び一般財源により手当していく。

議員 土地登記簿の地番をそのまま住所とするのは不便が多い。住居表示法を適用して分かりやすい表示とし、同一の住居番号も解消すべきではないか。

建設部長 現在、住居表示(〇丁目〇番〇号)を

住居表示…住所が「〇丁目〇番」と表記されるのは「住居表示に関する法律」が適用されることによる。

実施していない主な市街地に松倉地区や平田地区がある。住所を「〇地割〇番地」から住居表示に変更するには基礎的な調査や住居表示台帳等の作成に多額の費用を要するほか、住民の事務負担も大きい。現状では従来通りの地番表示を用いる方法継続することが現実的であると考えている。

同一の住居番号の発生は住居表示制度の重要課題であるが、従来の実施基準にとられず住居番号に枝番号を加えるなどでより分かりやすい表示にしていく。



産業を支えるエネルギーは？